

# 研修視察報告書

令和元年 11 月 11 日

[会派・公明党]

代表者氏名	吉住 美智子 印	記録者氏名	吉住 美智子 印
視察者氏名	阪本忠幸・富田真由美・細矢一宏・吉住美智子		
視 察 日	令和元年 11 月 7 日（木）～令和元年 11 月 8 日（金）		
視 察 先	高知県高知市、愛媛県西条市		
目 的	・「こうちこどもファンド」について ・「コミュニケーション・ロボットを活用した高齢者の見守りサービス」について		

## 視察概要

### 1、「こうちこどもファンド」(11月7日 高知市)

多世代が参加する地域コミュニティの形成には、こどもの力は欠かせないことから、未来の高知市を担う子どもたちの『自分たちのまちを良くしたい』という想いを実現するために、「高知市子どもまちづくり基金」を創設し、その基金を原資として子どもたちの自発的な活動を支援する制度。この制度は子どもたちの提案を助成対象とするだけでなく、審査する側にも子どもたちが参加し、全国の自治体に先駆けた取り組みとなっていた。

#### (所感)

名張市においても 15 地域づくりの今後の発展と充実のため、若い人や子どもの意見を生かした取り組みが重要であり、地域を支える人材育成の面からも大変参考になった。

【質問内容と説明資料は別途添付】

### 2、「コミュニケーション・ロボットを活用した高齢者の見守りサービス」(11月8日 西条市)

愛媛県西条市がスマートシティ構築トライアル事業の一環として行う「高齢者見守り支援サービス」に、コミュニケーション・ロボット「パペロアイ」を導入。

AI ロボット見守りサービスは、顔検知機能や LED ランプによる感情表現などのロボティクス技術、音声認識 AI 技術、さらにクラウドサービスを融合し、一人住まいの高齢者の安心・安全な暮らしをサポートするとともに、高齢者と離れて暮らす家族とのコミュニケーションを豊かにすることを目的としている。高齢者と家族だけでなく、自治体やケアマネージャーとも見守りに関し連携できるのが特徴となっている。

自治体が主体となりロボットを使った見守りサービスを提供するのは新しい取組である。

#### (所感)

2040 年の名張市の高齢化率は、39.2%になると予想されている。高齢世帯や独居老人が増加する中、だれでもが安心して暮らしていけるまちづくりが急がれます。

将来を見据え、介護の担い手不足、介護者の高齢化、人による支援の限界などの問題解決のためには、ソーシャル・ネットワーク・サービスの活用は、高齢者の生活の活性化と健康寿命の延伸にも繋がることから名張市においても参考になる取組みであった。

【質問内容と説明資料は別途添付】

